

陸上貨物取扱業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

| 2017<br>年<br>発生<br>月 | 時間        | 死傷災害発生事例  | 年<br>齢         | 労働<br>者規<br>模 |
|----------------------|-----------|---|----------------|---------------|
| 1                    | 11~<br>12 | 配送先にて4t車のゲートのストッパーが外れたため、手で押さえて止めようとしたとき、パレットを動かしたときに指がストッパーに挟まった。  | 25<br>~<br>299 | 100           |
| 1                    | 17~<br>18 | パーツセンターE部品庫にてリーチリフトでバック走行、部品保管棚とリーチリフトとの間に、右臀部を挟まれ被災した。   | 40<br>~<br>499 | 300           |
| 2                    | 14~15     | 冷凍倉庫内でパン生地のパック作業中、移動式ラックが右に動くようにスイッチを入れた後、作業のし忘れに気付いた。スイッチを止めて、ラックの中に入り、作業をしようとしたところ、スイッチを止めたつもりが勘違いで止まっていなかったためラックも止まらずに動いてきてしまいラックの下の隙間に左足が挟まり負傷した。 | 31<br>~<br>49  | 30~           |
| 2                    | 11~12     | 作業者が通路右側を台車を引きながら、歩行していた。事故現場に差し掛かった時、リフト作業者が後退した。通路に出て、左旋回した際、右手後方の確認を怠り、作業者に接触した。作業者左足をリフト右後輪に踏まれ受傷した。  | 69<br>~<br>299 | 100           |
| 2                    | 14~15     | 納品を終えて駐車スペースから車両を動かすため車両の右後方からバックの誘導をした。ストップの音を出すも止まらず、壁面と車両の間に左前腕を挟んでしまった。業務を進めるも痛みと腫れが増したこともあり、救急搬送され、病院を受診したところ、左手首を粉碎骨折していた。                      | 33<br>—        | —             |
| 3                    | 13~14     | 入荷した商品を空オリコンに部門別に仕分けをし、パレットに積みつける作業を行っていた。パレットの上に乗る、次の空オリコンを取ろうと思いを取られた結果、下に置いてあるパレットを見落とし、フォークの爪を差しこむ穴に左足が   | 43<br>~<br>99  | 50~           |

|   |       |   |    |                 |
|---|-------|---|----|-----------------|
|   |       | はまった状態で倒れた。   |    |                 |
| 3 | 10~11 | 荷物を積んだカゴ台車をトラックから降ろし歩道に上げる際、被災者は1台目の後方から台車を押ししており、2台目のカゴ台車を押すスタッフ2名は、前方の状況を確認せず歩道に上げるため強くカゴ台車を後方から押したところ、被災者の踵に2台目のカゴ台車が直撃し受傷した。                        | 24 | 300<br>~<br>499 |
| 3 | 9~10  | 保管棚エリアにおいてフォークリフトに乗って棚入れ作業時に、急施回・急加速してしまい、後ろの棚とフォークリフトに挟まれ下腹部を強打し、坐骨を骨折した。  | 47 | 500<br>~<br>999 |
| 3 | 19~20 | 倉庫内にて台車運搬作業中に、本来禁止されている前進走行で走行していたフォークリフトと接触し、左足を車輪に巻き込まれた。フォークリフトがパレット又は商品の陰に隠れ、被災者がフォークリフトの存在に気付かず、前進走行のフォークリフトもブザーを鳴らさず、走行速度も速かったため、回避することができなかった。   | 22 | 10~<br>29       |
| 3 | 16~17 | 乗務中、商品配置をリフトマンに指示をしているとき、リフトマン操作中のフォークリフトが右足上を走行し負傷した。  | 48 | 10~<br>29       |
| 3 | 21~22 | フォークリフト通路脇のクレート保管場所で、作業後の片付けとして積み重なったクレートからラベルを剥がす作業を行っていた。パレットから積み重なったクレートを降ろそうと傾けた際に、それを支えようとして右足がフォークリフト通路へはみ出し、通りがかったフォークリフトの車輪と接触し被災した。            | 20 | 50~<br>99       |
| 4 | 0~1   | 店舗納品時、1台目のカート台車をゲート上に置き、2台目のカート台車を取りに行く時、1台目のカート台車のストッパー（ブレーキ）をセットしたつもりがセットになっておらず、駐車場所に逆駐車したため車両前方に傾斜がついてるので、1台目のカートが動き出し、次のカートと前方に動き出したカートに足と背中を挟まれる。 | 68 | 10~<br>29       |
| 4 | 10~11 | パイプ選別機の機械トラブル時、機械を停止せず不用意に起動部分に手を置いたためスクリュウ駆動チェーンに巻き込まれた。   | 68 | 10~<br>29       |
|   | 18~   | 倉庫内にて商品管理作業中、同じく運転作業中のフォークリフトと接触し、車両  |    | 100             |

|   |           |  |    |                 |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 5 | 19        | に巻き込まれた際に右足踝骨折、右足かかと開放創を負う。  | 63 | ～<br>299        |
| 5 | 18～<br>19 | 構内作業場でカゴ車を移動中、カゴ車の向きを修正しようとした際に勢いをつけ過ぎて、左足小指（安全靴の保護部との境目）にカゴ車のコマが乗り上げて負傷した。  | 28 | 10～<br>29       |
| 6 | 15～<br>16 | 倉庫入り口付近にて、麦が入っているフレコン（重さ約1t）をトラックへ積み込む作業中、フレコンを吊り上げるため、ショベルローダーのフォーク先端部分に取り付けていたロープを、フレコンの吊りベルトにくぐらせ、フォーク先端に掛けようとした際、先にショベルローダーが吊り上げてしまい、被災者が持っていたロープが引っぱられ、ロープと吊りベルトの間に被災者の左手親指が挟まれて受傷した。 | 67 | 10～<br>29       |
| 6 | 15～<br>16 | 倉庫内より荷受け前室に出ようとフォークリフトを直進させていた際、右側にハンドルを切った際に車体が曲がらず、慌ててフットブレーキをかけてしまった為、そのまま滑って前方にあったガードポールと接触した。その時、咄嗟に足を出してしまった為、ガードポールとフォークリフトに足を挟まれた。   | 28 | 10～<br>29       |
| 7 | 12～13     | ベルトコンベアから流れてくるミニトマトの受け取り作業をしていたところ、右手中指がベルトコンベア部とローラー部の隙間（1cm程の隙間）に入ってしまった、右手甲の部分まで挟まれてしまった。   | 51 | 100<br>～<br>299 |
| 7 | 11～12     | 倉庫内にて、フォークリフト作業中、なんらかのはずみでフォークリフトのレバーにトランシーバーが挟まってしまい、ギアがバックの状態に固定されてしまい、あわててペダルを放したときにフォークリフトが止まらず、そのままパレットの間に左足が挟まり、負傷してしまった。  | 37 | 1～9             |
| 7 | 12～13     | 倉庫内の職場において、高層棚の上段にある商品をピッキングするために使用する作業車をピック作業ができる位置に移動する際、高層棚の柱と作業車を掴んでいるバーの間に右手を挟み負傷した。作業車の取り扱いが今回が初めてであり、作業車の移動に関して、手袋を着用するなどの指導をしていなかった。   | 48 | 500<br>～<br>999 |
| 7 | 14～15     | 工場構内のガントリークレーン10t北にて、8mの鉄パイプ200A3本を平行にあだ巻きにて運搬横行中に、ガントリーの南側柱に当たりパイプが跳ね上がり、左手   | 33 | 1～9             |

|   |           |   |    |                   |
|---|-----------|---|----|-------------------|
|   |           | の指3本をパイプに挟み受傷した。  |    |                   |
| 7 | 13~14     | レーンを横切るとは禁止されていたが、レーン向こう側にあるリストを確認するため、レーンの上に乗った。その際、身体の一部がセンサーに触れたため、レーンが稼働し、左手が連結部に巻き込まれた。  | 31 | 50~<br>99         |
| 7 | 11~<br>12 | 冷凍魚の荷上げ終了後、船内に入れたベルトコンベアー（長さ4m・重さ100kg）を出す作業中に誤って地面とコンベアーの間に左手人差し指を挟めてしまい、負傷した。今後の対策として、重いものを持つ作業には最低でも二人で作業し、またその際には声をかけ合い作業する様に指導した。  | 30 | 10~<br>29         |
| 7 | 9~<br>10  | 休憩室に向かうため、旧出荷パース側プッシュ式電動ドアから出て行こうとしたが、ドアが開いていたためそのまま通り抜けようとしたところ、扉が閉まってきてしまい、左腕を挟まれ肉離れを起こした。  | 69 | 100<br>~<br>299   |
| 7 | 5~6       | 被災者は、作業長以下5名とTBMを実施したあと、他作業者と別れ、自動梱包ラインで個人KYを実施後に作業を開始した（当該作業は一人作業である）。ラベル貼付けデッキでの作業を終え、搬送台車の自動運転を開始したあと、被災者は何らかの理由によりライン内に立入り、搬送台車に近づいた。その際、コイル置台からコイル載せ位置へ移動し始めた搬送台車の車輪に右足を挟まれた。（カッターナイフを落としたという被災者の証言があり、カッターナイフの回収に行こうとして搬送台に近付いたものと推測される。） | 30 | 1000<br>~<br>9999 |
| 7 | 6~7       | 仕分け作業時、荷物が積み込まれたカーゴテナーを2台並べ、荷物を降ろしていた。その際、右側のカーゴテナーを位置調整で動かした際、車輪が右足の甲部分にのり上げた。（安全靴未着用）   | 40 | 50~<br>99         |
| 7 | 14~<br>15 | 冷蔵庫3階B棟荷捌場にて、当事者が1階より引取便接車の無線連絡を受け、予め出庫準備済の貨物から、対象の出庫（12kg）を別のパレットに移そうとしたとき、誤って手を滑らせた。貨物が落下しそうになったため、慌てて貨物の下に手を回し持ち直そうとしたところ、右手人差し指を挟み負傷した。   | 31 | 10~<br>29         |
| 9 | 5~6       | 投入作業終了後、送ベルトの位置調整を、機械を停止せずに実施したため、ベルトとローラーの間に指を挟み負傷した。  | 58 | 100<br>~          |

|    |           |  |    |                 |
|----|-----------|--|----|-----------------|
|    |           |  |    | 299             |
| 9  | 20～<br>21 | POS35LをLOLからコンテナドーリーの移送後、ドーリーを回転させた。その際ドーリーのフチ部分とコンテナの隙間に手指が入り込む状態であった為、コンテナベース部分が遠心力でフチ部分にずれた時に、右手人差し指が挟まり負傷した。   | 20 | 500<br>～<br>999 |
| 9  | 15～<br>16 | 事業所で、受傷者Aは異常品検品作業後、入荷品仕分け場（リフト作業エリア）に移動した。リフト乗務員は受傷者がリフト作業エリアに移動したことに気付かずに作業を続けた。荷物整理の為、リフトをバック走行させたところ、リフト後方から「うっ」という声が聞こえた為振り返ると受傷者が後方に倒れていることを確認した。事故状況を、受傷者・リフト乗務員双方に確認したところ、双方ともに受傷者にリフトが接触したか記憶がない、わからないとのことである。 | 57 | 1～9             |
| 9  | 10～<br>11 | センター内にて、トラックの荷台にリサイクル家電（冷蔵庫）を積み込む際、荷台がプラットホームより10cm低くなっており、冷蔵庫を斜めにして積み込んだところ、先に積み込んだ冷蔵庫と、積み込もうとした冷蔵庫の間に右手親指を挟み負傷した。  | 48 | 30～<br>49       |
| 9  | 15～<br>16 | 1Fフロアにおいてフォークリフトにて荷捌きを行っている際、バック走行をしブレーキペダルを離し停止しようとしたがブレーキが利かずガードレール接近し、咄嗟に左足を出してしまいガードポールとフォークリフトの間に左足踵を骨折した。  | 32 | 50～<br>99       |
| 9  | 13～<br>14 | 倉庫内で出荷作業中、通路走行時にハンドル操作を誤り、ネステナーと接触しうになった為、ブレーキペダルを放したが間に合わず通路沿いに設置してあるネステナーに衝突した。その際、反射的に出した左足がフォークリフトとネステナーの間に挟まり左足首を負傷した。  | 25 | 50～<br>99       |
| 10 | 11～<br>12 | 取引先より荷物搬入のために、商品をカーゴテナーに積み移動していた。移動途中誤ってキャスターに足を挟めてしまい、安全靴に保護されていない部分だったため右足小指の付け根部分を負傷した。   | 32 | 30～<br>49       |
|    | 17～       | 工場、スティックを充填機ラインから梱包ラインに排出するときに、排斥シャッターが開き切っていなかったため、10包のうち1包が梱包ラインに挟まっ   |    | 100             |

|    |           |   |    |                   |
|----|-----------|---|----|-------------------|
| 10 | 18        | てしまい、詰まっているスティックを排除するため右手を入れたところ、排斥シャッターが閉まり右手を挟み被災したものの。   | 54 | ～<br>299          |
| 10 | 16～<br>17 | 移転の為、キャビネットをトラックに積み込む際キャビネットとトラックの跳ね上げに右手中指を挟まれた。   | 34 | 30～<br>49         |
| 10 | 6～7       | 配送先の店舗にて、トラックの荷台からカゴ車を降ろす際、カゴ車のストッパーに靴ひもが引っ掛かり、靴が脱げた足をカゴ車で轢いて負傷した。  | 46 | 100<br>～<br>299   |
| 10 | 5～6       | ホームに接車しているトラックにローラーを設置しようとしたところ、手袋が挟まり無理やり引き抜こうとした際、ローラーがバウンドして手が挟まり被災したものの。  | 29 | 30～<br>49         |
| 10 | 18～<br>19 | 倉庫内でフォークリフトにて、入荷収納時、入荷シールを見て、ロケーションに行く時に、たまたまそのロケーションの前にフォークリフトが止まっていて、その横をフォークリフトで通り、そのロケの商品を収納し、次のロケへ行く時に、バックし、転回をしていたら、左足がフォークリフトから出ていたため、重量ラックとフォークリフトに足が挟まり骨折した。 | 47 | 10～<br>29         |
| 10 | 14～<br>15 | 社内移動の積み込みの際、短爪リフトマンが運転席側の1パレット目の製品を車両上に積載時、当社乗務員がリフトの横で養生材を差し入れていた。乗務員が養生材から手を離す前に、リフトマンがフォークリフトを右にスライドさせ、バックレストが乗務員の左手甲に当たり車両と挟まった。                                  | 27 | 50～<br>99         |
| 12 | 7・8       | 航空機に搭載されたULD（アルミ製の板に貨物が積まれ、ネットで固縛された状態）を開口部まで電動で動かし取り降ろす作業中に、ULD固定部のあたりに指を入れロックを外そうとしていたところ、ULDが動いたため指を挟み負傷した。  | 20 | 1000<br>～<br>9999 |
| 12 | 6・7       | クール室内でクールボックスを移動中、右側より動いてきたクールボックスと移動中のクールボックスとの間に右前腕を挟んで、怪我を負った。   | 52 | 300<br>～<br>499   |
|    |           | 1階5番バスにてチャーター便の入荷対応時、フォークリフトで商品を搬送中、リフトを停車して降りようとしたところ、服の右袖がリフトレバーに引っかかっ  |    | 50～               |

|    |       |  |    |           |
|----|-------|--|----|-----------|
| 12 | 9~10  | て、リフトが停止せず、後ろに積んであったパレットと自身が運転するフォークリフトの間に左足が挟まれた。   | 56 | 99        |
| 12 | 10~11 | 商品を取りに行くためバック走行で移動していたところ、フォークリフト内側の充電部の小窓が開き、安全装置が作動して全電源が切れたため、操作が不能となった。その際、焦りと走行の勢いにより、ブレーキが利きにくい状態になり、収納ラックとの間に挟まり、前のめりで圧迫され負傷した。 | 38 | 10~<br>29 |

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)